

作成日：西暦 2023 年 3 月 4 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：新生児集中治療管理室/新生児回復室でのメチシリン耐性黄色ブドウ球菌汚染に対するパルスドキセノン紫外線消毒の効果

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1．研究の対象

2017 年 4 月～2025 年 3 月に藤田医科大学病院の NICU、GCU に入院となった患者。

2．研究目的・方法・研究期間

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（以下、MRSA）は医療関連感染の代表的な原因菌の一つで、新生児集中治療室（以下、NICU）、新生児回復室（以下、GCU）に入院している新生児は免疫能や皮膚、粘膜が未熟であるため、MRSA を含む病原体に罹患しやすいと言われています。そのため、MRSA 感染症対策は、院内感染対策の観点から重要な位置をしめられていると考えています。

感染対策の基本は、手指衛生の遵守と標準予防策の徹底、定期的な環境整備、家族指導です。その中でも、近年、紫外線などの非接触消毒技術が導入され、いくつかの研究ではパルスドキセノン紫外線照射機器を使用することで環境中の微生物が減少したことが実証されています。

本研究では NICU、GCU でのパルスドキセノン紫外線照射機器のプロトコール確立を目指すことで、MRSA 発生率と紫外線照射の有用性の探索を目的とします。

研究期間は倫理審査委員会承認日～ 2026 年 03 月 31 日

利益相反

研究の資金等と利益相反

研究資金： 契約に基づき研究費用の全てをテルモ株式会社から享受。

物的・人的支援： 適切な契約に基づき、テルモ株式会社から研究に必要な物品が貸与され人的支援はありません。

利益相反： テルモ株式会社は研究計画書の作成、研究の遂行、結果の解析、研究成果のとりまとめ等に一切関与していません。

藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、利益相反マネジメントを受けています。

3．研究に用いる情報の種類

電子カルテに記載されている MRSA 培養検査結果と環境培養の結果をデータベースに入力します。

2017 年 4 月～倫理審査委員会承認後 2 年間に入院された患者の情報を用います

4．外部への試料・情報の提供

なし

5．研究組織

研究機関

藤田医科大学

研究機関の長

湯澤由紀夫

本学の研究責任者

藤田医科大学 医療の質・安全対策部感染対策室 教授 本田仁

6．情報管理の責任者

藤田医科大学 医療の質・安全対策部感染対策室 教授 本田仁

7．除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学病院医療の質・安全対策部感染対策室

中川 雅貴

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話番号：0562-93-2269

アドレス：ict2269@fujita-hu.ac.jp

